

令和元年度 事業報告

(敬省略)

令和元年度は、常任指揮者：飯守泰次郎によるベートーヴェンの交響曲シリーズ、レジデント・コンダクター：高関健によるストラヴィンスキー、指揮者：角田鋼亮による藤倉大／グラズノフなど仙台フィルの指揮者団による充実したプログラムを柱として、新旧ゲストアーティストによる多彩な公演をお届けいたしました。特に第 333 回定期演奏会では、第 7 回仙台国際音楽コンクールの優勝者が、コンクールから間もない数カ月後にソリストとして登場するなど、「楽都仙台」を内外にアピールする特徴的なシーズンとなりました。

前年度から本格化した音楽を通して未来を担う子どもたちの成長を支援する青少年招待制度「U-18 チケット」は、順調に活用者を増やしつつあり、令和元年度は 405 名にご活用いただくことができました。また定期演奏会の会場において、仙台市花き市場の協力で継続している「くらしに花を、そして音楽を」も 4 シーズン目に突入し、毎回ロビーを彩る華やかなデコレーションは、仙台フィルの公演の特有のものとなりつつあります。

楽団の体制については、令和元年度にコントラバスセクションに田中洸太郎、打楽器セクションに前田秀明を採用し順調に世代交代を継続しています。

令和元年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、令和 2 年 2 月 24 日（月）の依頼演奏会を最後に、現在まで一切の演奏会を開催することが難しい状況が続いております。

5 月 15 日に、新型インフルエンザ等感染症特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象から宮城県は除外されましたが、「密閉」「密集」のオーケストラ演奏が、ただちにこれまでのようなスタイルで再開することはできません。

新型コロナウイルス感染症が、脅威でなくなる時期を見通すことができない中、仙台フィルは、会場にお出でいただくお客様等の安全確保を第一に考え、そして新型コロナウイルス感染症と共存できるオーケストラのスタイルを模索していきたいと考えております。

1. 楽団経営健全化への取り組み

令和元年度は、「経営健全化に向けた新たな取り組み」の 2 年目でした。

この取り組みは、「適正な編成規模への見直し」により累積赤字を解消し、経営の健全化を図ることを大きな柱としているものであります。

退職者不補充により、パート毎に定めた適正な人数を、令和 9 年度（2027 年度）には達成（楽団員 66 人体制）することを目標としており、着実に取り組み

を進めております。

令和元年度は、3年に一度の仙台国際音楽コンクール開催年であり、「経営健全化に向けた新たな取り組み」では、当面は、累積赤字を増やさない取り組みとして、コンクール開催年度を含めた3か年度の収支を均衡させることを目標としております。

令和元年度単年度での収支としては、2,652万円の黒字を確保しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月末から演奏活動の自粛が要請され、このため3月の定期演奏会2公演・みんなでつくる復興コンサートを含めた依頼演奏会3公演、東日本大震災慰霊祭での献奏を含め室内楽が8公演中止となり、収支へ大きな影響を及ぼしました。

令和2年度につきましても、6月末まで予定していた演奏会は、依頼演奏会も含め中止又は延期となっており、令和元年度を含めた3か年間の収支の均衡は、極めて厳しいと言わざるを得ません。

前書きにも記載しましたが、新型コロナウイルス感染症と共存できるオーケストラのスタイルを創っていかねばなりません。

2. 交響管弦楽等の演奏

(1) 定期演奏会(16日:16ステージ)

仙台フィルは、来たる令和2年のベートーヴェン生誕250年に向けて令和元年もベートーヴェンの交響曲を柱としたプログラムをコンセプトに国内外で評価の高い指揮者・ソリストを招聘して全8回(第335回定期は新型コロナウイルス感染症の影響で公演中止)の定期演奏会を開催いたしました。

4月に開催された第327回定期演奏会では、初夏の第7回仙台国際音楽コンクールに向けた特別企画として、コンクールのピアノ部門の指揮を担当する広上淳一を久々に迎え、日本ヴァイオリン界を代表する巨匠徳永二男を26年ぶりに招聘して、近年著名ヴァイオリニストから注目を集めて各地で演奏されているコルンゴールド:ヴァイオリン協奏曲を上演しました。仙台フィルにとっては初めて取り上げる作品でしたが、同曲を何度も経験している広上淳一の的確な指揮に導かれ、徳永二男の確かな技術と圧倒的な表現力に触発され、圧倒的な熱演が繰り広げられました。

5月に開催された第328回定期演奏会では、常任指揮者飯守泰次郎によるベートーヴェンの交響曲演奏のハイライトとして交響曲第6番「田園」、交響曲第5番「運命」を取り上げました。飯守は、日立システムズホール仙台コンサートホールの特徴を最大限に生かすため、前年度より弦楽器を対向配置とした古典的スタイルに加えてコントラバスを最後列に配置する独創的なスタイルを採用していますが、この配置は高関健も古典派からロマン派の作品の際に度々採

用するなど、仙台フィル独自のスタイルとして、いまや日本中の音楽ファンの間で注目を集めつつあります。

7月に開催された第329回定期演奏会では、仙台フィルとは良好な関係を築いている下野竜也が最も得意とするチェコ国民楽派の大作「我が祖国」全曲演奏で2年ぶりに登壇、久しぶりの大作上演は公演前より全国で大きな話題となり、令和元年度最高の集客数を記録しました。

9月に開催された第330回定期演奏会には、バッハ・コレギウム・ジャパンの創設者・音楽監督として世界中に多くのファンを持つ鈴木雅明が客演しバッハからベートーヴェンへと連なる作曲家群であるハイドン、メンデルスゾーン、ブラームスの作品を取り上げました。幼い頃からバッハを敬愛し、マタイ受難曲を蘇生初演させたことで広く知られるメンデルスゾーンの代表作交響曲第3番「スコットランド」の演奏では随所にバッハ、ベートーヴェンへの影響が垣間見られ、まさに鈴木雅明ならではの好演が繰り広げられました。

10月に開催された第331回定期演奏会では、常任指揮者：飯守泰次郎のもと、仙台フィルでは16年ぶりとなる細川俊夫の作品を取り上げました。蓮が開花する様を描いた「開花Ⅱ」では、仙台フィルの弦楽セクションが一丸となって細川作品の特徴である極限のピアノシモで静謐な音世界を表出させました。この公演には作曲家の細川氏も急遽駆けつけ、聴衆から大きな称賛を浴びていました。後半は飯守が得意とするブルックナー作品から交響曲第4番「ロマンティック」を取り上げ、管弦楽による壮大な大伽藍を描き出しました。

11月に開催された第332回定期演奏会では、仙台フィルのレジデント・コンダクター：高関健が仙台フィルと共に20世紀の代表的作曲家ストラヴィンスキーに焦点を当て、ストラヴィンスキーによる交響楽作品を取り上げました。高関健の精緻なバトンテクニックにより仙台フィルの表現技術力を最大限に生かす名演となりました。

1月に開催された第333回定期演奏会では、仙台フィル指揮者：角田鋼亮が登場し、仙台フィルが近年世界中から注目されている新進作曲家藤倉大の代表作「トカール・イ・ルチャール」を取り上げ、加えて前年6月に開催された第7回仙台国際音楽コンクールピアノ部門の優勝者チェ・ヒョンロクをいち早く招聘し、ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番を演奏するなど話題の多い公演となりました。後半は近年実力派として評価がさらに高まっている角田鋼亮がグラズノフの代表的なバレエ音楽「四季」に挑戦し、多彩なサウンドを仙台フィルから存分に引き出していました。

2月に開催された第334回定期演奏会では、常任指揮者：飯守泰次郎がベートーヴェン：交響曲第8番と共に、ベートーヴェンからの交響曲の系譜に連なると評されるブラームス交響曲第1番を取り上げ、ドイツ音楽の伝道者として評価の高い飯守の指揮のもと、入魂の演奏を繰り広げました。同公演はNHKによ

り音声収録され、NHK-FM ラジオ「ベスト・オブ・クラシック」で3月に全国放送され多くの反響をいただくことができました。

3月に開催を予定していた第335回定期演奏会は、山形交響楽団の芸術総監督である飯森範親が初めて仙台フィルの定期演奏会に登場する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市からの要請により残念ながら公演は中止となりました。

(2) 特別演奏会 (9日：10ステージ)

仙台フィルが平成14年にスタートさせた未就学児童を対象としたオーケストラ体験型公演「オーケストラと遊んじゃおう」は、楽器体験と音楽会で構成される公演であり今回(4月7日)も多くの未就学児童と親子づれで賑わいました。

7月27日に東京エレクトロンホール宮城にて開催した「サマーフェスティバル2019」では昨年に引き続きオーケストラによる映画音楽を中心に据えつつ、今回は映画におけるヒロインをテーマに元TBSの看板アナウンサーとして知名度の高い柴田秀一氏と地元FM仙台のアナウンサー名護ひと美による映画トークを中心におとどけしました。最後のチャイコフスキー：序曲「1812年」では仙台市民交響楽団と東北福祉大学の管楽器メンバーを加えた大規模編成のオーケストラ・サウンドは、多くの反響を得る事が出来ました。

8月25日に岩沼市民会館で開催した「マイタウンコンサート」では仙台フィルコンサートマスター西本幸弘をソリストにしてシベリウス：ヴァイオリン協奏曲をおおくりしたほか、吹奏楽界で取り上げる機会の多いムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」を取り上げ、多くの中高生にご来場いただきました。また協賛企業のご支援により楽団員の室内楽による事前ワークショップを岩沼市内の小中学校全8校で行い、オーケストラ公演への関心を大いに高めました。

翌週8月31日には仙台フィルの信頼が厚い山田和樹とのコンサートシリーズの第6弾としてオール・モーツァルトプログラムを開催しました。オーボエ首席奏者西沢澄博によるモーツァルト：オーボエ協奏曲の好演とともに、隅々まで磨きこまれた交響曲第35番「ハフナー」、交響曲第41番「ジュピター」の演奏は盛夏のなかご来場いただいた満場のお客様をおおいに沸かせました。

11月17日には盛岡市民文化ホールに於いて市内全合唱団で構成する特別編成の合唱団と共に盛岡では比較的演奏機会の少ないベートーヴェン「第九」を開催いたしました。平成30年度に開催された盛岡市民文化ホール開館20周年ガラ・コンサートの際に盛岡市内の合唱、バレエ、吹奏楽団体との共演を果たしたご縁を発展させての公演でしたが、これが仙台フィルと初めての第九となる高関健と緊張感のあるリハーサルと高関が長年信頼を寄せるソリストの好演もあり、完成度の高い公演となりました。

年末恒例の12月「第九」演奏会では、当初予定していた飯守泰次郎が急病のため出演を取り止めとなりましたが、約1ヶ月前に盛岡で第九を指揮したレジデント・コンダクター：高関健が急遽指揮を務め、無事に年末を締めくくることが出来ました。

令和2年1月「ニューイヤーコンサート2020」では、若手指揮者のなかでも抜群の人気を誇る川瀬賢太郎が1年ぶりに登場し、シュトラウスの名曲ワルツ、ポルカのほか、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」で年始めの公演を華々しく飾りました。

(3) 依頼演奏会(88ステージ)

世界中に多くのファンを持つ作曲家久石譲が地方オーケストラとのコンサートツアーの新企画としてスタートした「久石譲スプリング・コンサート」に仙台フィルが選ばれました。平成最後となる4月27日～30日に福島県郡山市、山形県南陽市、宮城県仙台市でのオーケストラ公演に加え、東松島市宮野森小学校における久石譲氏自身初となるアウトリーチ公演が実施されました。

5月20日アイリスオーヤマ株式会社主催による「アイリスオーヤマクラシックスペシャル2019」がサントリーホールで開催されました。ミュージカル界で絶大な人気を誇る新妻聖子をゲストに迎え「オーケストラ・サウンドと光のスペクタクル」と題し、大胆な光の演出とオーケストラ・サウンドに乗せて満場のお客様にお楽しみいただくことが出来ました。

5月31日～6月30日には第7回仙台国際音楽コンクール<ピアノ部門><ヴァイオリン部門>が開催され、広上淳一、高関健の指揮のもとホスト・オーケストラとしてセミ・ファイナルからファイナル、ガラ・コンサートまで多くの出場者と共演をさせていただきました。その演奏はYouTubeで世界に同時配信されました。

9月20日～23日には、秋田県からの委託で秋田県内4箇所の自治体との連携プログラム「大いなる秋田」を行いました。合唱と吹奏楽のために創作された「大いなる秋田」は秋田県民歌とともに長年多くの県民に親しまれていましたが、今回は新たに合唱と管弦楽のための作品として創作し、加えて管弦楽版の楽譜制作にも監修として参画しました。

10月31日には日生劇場が全国各地で展開しているオペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」を角田鋼亮指揮のもとで行いました。

年が明けて令和2年1月9日には仙台電力ホールにて恒例の藤崎ニューイヤーコンサートを川瀬賢太郎の指揮でお楽しみいただきました。

(4) 室内楽

令和元年度も、仙台市内のみならず、東北各地で広く室内楽活動を行いました。音楽の力による復興センター・東北と連携した各地での公演のほか、岩手県においては、令和元年3月に全面復旧となった三陸鉄道の沿線地域（大槌町、宮古市、釜石市、山田町）で被災したレールを使った「観光列車」のほか、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」をモチーフとした「家路」を来場者全員で合唱するスペシャル企画をおとどけし、心の復興をキーワードに多くの方々と音楽を共有することが出来ました。

3. 青少年の音楽鑑賞及び演奏等に関する指導およびその普及

(1) 青少年のためのオーケストラ鑑賞会

仙台市が主催する小学5年生と中学1年生を対象とする「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」は、日立システムズホール仙台コンサートホールで14公演を実施し、計11,000名の青少年の情操教育に寄与いたしました。

(2) 次代を担う子どもの文化芸術体験事業

全国各地の小中学校を訪問する文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」では、今年は宮城県、北海道、秋田県の小中学校計15校で公演を実施いたしました。「オーケストラと歌おう」という企画で各校の児童たちと共演し、音楽の普及につとめました。

4. その他目的達成のために必要な事業

(1) 演奏に必要な調査、研究

日本オーケストラ連盟加盟オーケストラをはじめ、文化庁、日本芸術文化振興会、アフィニス文化財団と積極的な情報を通じて、当団の運営に役立てました。特に新型コロナウイルス感染症により多くの公演が影響を受けるなか、地方オーケストラ各団体との情報共有は、判断材料として大いに役立ちました。

一方、例年8月に開催される全国のオーケストラのステージマネージャー会議に当団担当者が参加し、それぞれのオーケストラにおける問題点を討議し、また有益な情報交換を行いました。

(2) 仙台フィルと第九をうたう合唱団

例年通り、一般公募により6月から毎週練習を行い、オーディションを通過して結成した「仙台フィルと第九をうたう合唱団」は、10月に開催された「仙台クラシック・フェスティバル」の最終公演、12月に開催された特別演奏会「第

九」に出演。両公演とも高関健の指揮のもとで見事な歌唱を聴かせました。

（３）仙台ジュニアオーケストラの指導

強力な台風 19 号の接近により、10 月 13 日に予定していた定期演奏会はやむなく中止となりましたが、代替えとして 11 月 23 日夜に保護者向け限定して発表会を行いました。また令和 2 年 3 月に予定していた「スプリング・コンサート」は、新型コロナ・ウィルス感染症の影響で残念ながら公演中止となりました。

（４）ラジオ放送とソーシャル・メディアの活用

毎月第 1 日曜夜に放送中のエフエム仙台「仙台フィル Wave Symphony」は、楽団員 2 名によるデュオのスタジオ生演奏などを加え、好評のうちに令和元年度も番組をおとどけております。TBC 東北放送では仙台フィルコンサートマスター、首席奏者をナビゲーターとした「エンジョイ！クラシック」が継続中です。また仙台フィルでは、これらの放送媒体に加え、公式ホームページ、公式ツイッター、公式フェイスブック、公式 YouTube など SNS による情報発信を積極的に行い、クラシック音楽の素晴らしさを多くの方におとどけいたしました。

（５）CD 制作について

令和元年 4 月に仙台フィルとしては、約 3 年半ぶりとなる新譜をリリースいたしました。ドヴォルザーク：交響曲第 9 番「新世界より」は、東日本大震災以降仙台フィルが大切に育んできた作品でもあり、情感溢れる演奏はリリース後に多く反響をいただくことが出来ました。録音は、平成 30 年 11 月第 323 回定期演奏会、指揮：飯守泰次郎によるものです。

令和元年度事業報告

【参考資料】

(1) 定期演奏会 (18 公演)

・第 327 回～335 回 (金・土 2 回公演)

会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール 開演：金曜日午後 7 時・土曜日午後 3 時

回	開催日	出演者	演奏曲目
327	4.19(金) 20(土)	指揮：広上淳一 ヴァイオリン：徳永二男	ロッシーニ：歌劇「どろぼうかささぎ」序曲 コルンゴールド：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 ハチャトゥリアン：組曲「ガイヌ」抜粋
328	5.17(金) 18(土)	指揮：飯守泰次郎	ベートーヴェン：交響曲第 6 番ヘ長調「田園」 ベートーヴェン：交響曲第 5 番ハ短調「運命」
329	7.19(金) 20(土)	指揮：下野竜也	スメタナ：連作交響詩「わが祖国」(全曲)
330	9.13(金) 14(土)	指揮：鈴木雅明	ブラームス：悲劇的序曲 ハイドン：交響曲第 104 番ニ長調「ロンドン」 メンデルスゾーン：交響曲第 3 番イ短調「スコットランド」
331	10.25(金) 26(土)	指揮：飯守泰次郎	細川俊夫：開花Ⅱ ブルックナー：交響曲第 4 番変ホ長調「ロマンティック」
332	11.22(金) 23(土)	指揮：高関 健 トロンボーン：菊池公佑	ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「かるた遊び」 グレンダール：トロンボーン協奏曲 ストラヴィンスキー：3 楽章の交響曲
333	2020 年 1.24(金) 25(土)	指揮：角田鋼亮 ピアノ：第 7 回仙台国際音 楽コンクール優勝者	藤倉大：Tocar y Luchar (奏でよ、そして闘え) ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 2 番変ロ長調 グラズノフ：バレエ音楽「四季」
334	2.14(金) 15(土)	指揮：飯守泰次郎	ベートーヴェン：交響曲第 8 番ヘ長調 ブラームス：交響曲第 1 番ハ短調
335	3. 6(金) 7(土) 【中止】	指揮：飯森範親 ヴァイオリン：第 7 回仙台 国際音楽コンクール優勝者	ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第 3 番ト長調 ドビュッシー／ラインスドルフ編：「ペレアスとメリザンド」 組曲 ドビュッシー：交響詩「海」

(2) 特別演奏会 (10 公演)

	開催日	出演者	演奏曲目
オーケストラと遊んじゃおう	4.7(日) 2回	指揮：岩村 力 ゲスト：今井ゆうぞう	スーザ：星条旗よ永遠なれ アンダーソン：舞踏会の美女 プロコフィエフ：ピーターと狼 他 ※開演前に楽器博物館を開催。
サマーフェスティバル 2019	7.27(土)	指揮：鈴木織衛 ナビゲーター：柴田秀一 ほか	ジュラシック・パーク、サウンド・オブ・ミュージック、風と共に去りぬ、雨に唄えば、千と千尋の神隠し、となりのトトロ、おくりびと 他
マイタウンコンサート in 岩沼	8.25(日)	指揮：岩村力 ヴァイオリン：西本幸弘	ベルリオーズ：「ベアトリスとベネディクト」序曲 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調 ムソルグスキー／ラヴェル編：組曲「展覧会の絵」
山田和樹×仙台フィル vol.6	8.31(土)	指揮：山田和樹 オーボエ：西沢澄博	モーツァルト：交響曲第35番ニ長調「ハフナー」 モーツァルト：オーボエ協奏曲ハ長調K. 314 モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
名曲コレクション 盛岡第九	11.17(日)	指揮：高関 健 ソプラノ：中江早希 アルト：相田麻純 テノール：宮里直樹 バリトン：大沼徹 合唱：もりおか「第九」特別合唱団	ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 ほか
もりのみやこのふれあいコンサート	12.6(金)	指揮：平川 範幸	マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲 ブラームス：ハンガリー舞曲第1番、第5番 ほか
第九特別演奏会	12.21(土)	指揮：飯守泰次郎 指揮：高関健 ※指揮者変更 ソプラノ：田崎尚美 メゾ・ソプラノ：金子美香 テノール：二塚直紀 バリトン：与那城敬 合唱：仙台フィルと第九をうたう合唱団 ほか	ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 ほか
名曲コレクション	2020年 1.12(日) 福島 1.13(月) いわき	指揮：川瀬賢太郎	J.シュトラウスⅡ世：皇帝円舞曲 J.シュトラウスⅡ世：芸術家のカドリーユ J.シュトラウスⅡ世：エジプト行進曲 ヨゼフ・シュトラウス：鍛冶屋のポルカ ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」 他

依頼演奏会（88公演） 雨天中止1公演、新型コロナウイルス感染症関連中止3公演

開催日	演奏会名	出演者	主催者等
4.12 (金) 13 (土) 14 (日)	杜の都コンサート (仙台駅2階ステンドグラス前)	指揮：キハラ良尚 ソプラノ：守谷由香 テノール：糸賀修平	主催：東日本鉄道文化財団
4.24 (水)	県民ロビーコンサート (宮城県庁ロビー)	指揮：水戸博之	主催：宮城県
4.27 (土) 4.29 (月) 4.30 (火)	久石譲スプリングコンサートツアー2019 (郡山市文化センター、南陽市文化会館、東京 エレクトロンホール宮城)	指揮：久石譲	主催：キョードー東北
5.05 (日)	ハイパーウインド第6回公演 (イズミティ 21 大ホール)	指揮：末廣誠	主催：ハイパーウインド
5.09 (木)	七十七ふれあいコンサート (宮城県涌谷町立涌谷中学校)	指揮：松井慶太	主催：七十七銀行
5.20 (月)	アイリスオーヤマスペシャルコンサート (東京：サントリーホール)	指揮：角田鋼亮 ヴォーカル：新妻聖子	主催：アイリスオーヤマ
5.26 (日)	ハウス食品ファミリーコンサート (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：竹本泰蔵 ヴァイオリン：伊藤亜美	主催：ZOOM
5.31 (金) 6.01 (土) 6.02 (日) 6.06 (木) 6.07 (金) 6.08 (土) 6.09 (日) [7公演]	第7回仙台国際音楽コンクール[ピアノ] セミファイナル 5.31-6.02 ファイナル 6.06-6.08 入賞者ガラコンサート 6.09 (日立システムズホール仙台コンサートホール)	指揮：広上淳一	主催：仙台国際音楽コンクール 組織委員会 仙台市 仙台市市民文化事業団
6.21 (金) 6.22 (土) 6.23 (日) 6.27 (木) 6.28 (金) 6.29 (土) 6.30 (日) [7公演]	第7回仙台国際音楽コンクール[ヴァイオリン] セミファイナル 6.21-6.23 ファイナル 6.27-6.29 入賞者ガラコンサート 6.30 (日立システムズホール仙台コンサートホール)	指揮：高関 健	主催：仙台国際音楽コンクール 組織委員会 仙台市 仙台市市民文化事業団
7.1 (月)	仙台市市制施行記念演奏会	指揮：高関 健 ピアノ：津田裕也	主催：仙台市、
7.03 (水) 7.04 (木) 7.05 (金)	文化芸術による子供育成総合事業 (宮城県・亘理町立亘理小学校) (宮城県・塩釜市立玉川中学校) (宮城県・石巻市立青葉中学校)	指揮：水戸博之 テノール：加藤太朗	主催：文化庁
7.09 (火) 7.10 (水) 7.11 (木) 7.12 (金) [8公演]	青少年のためのオーケストラ鑑賞会 (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市 仙台市教育委員会 仙台市市民文化事業団

8.04 (日)	フェスタサマーミュージア2019 (ミュージア川崎シンフォニーホール)	指揮：高関健 ヴァイオリン：郷古廉	主催：川崎市 川崎市文化財団
9.02 (月) 9.03 (火) 9.04 (水) 9.05 (木)	文化芸術による子供育成総合事業 (北海道・釧路市立共栄小学校) (宮城県・亘理町立亘理小学校) (宮城県・塩釜市立玉川中学校) (宮城県・石巻市立青葉中学校)	指揮：水戸博之 テノール：加藤太朗	主催：文化庁
9.16 (月)	野草園萩まつりコンサート (野草園) 雨天中止	指揮：平川範幸	主催：仙台市野草園
9.20 (金) 9.21 (土) 9.22 (日) 9.23 (月)	「大いなる秋田」公演 (秋田県・秋田アトリオン音楽ホール) (秋田県・由利本荘市文化会館カダレー) (秋田県・湯沢市文化会館) (秋田県・鹿角市文化の杜交流館コモッセ)	指揮：岩村力	主催：秋田県
9.28 (土) 9.29 (日) [2公演]	仙台オペラ協会「メリー・ウィドウ」 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：末廣誠	主催：仙台オペラ協会
10.04 (金) 10.05 (土) 10.06 (日) [5公演]	仙台クラシックフェスティバル (仙台銀行ホールイズミティ 21)	指揮：高関健 ピアノ：藤田真央、横山幸雄 ヴァイオリン：竹澤恭子、 リチャード・リン チェロ：新倉瞳 ほか	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
10.08 (火)	文化芸術による子供育成総合事業 (宮城県・角田市立北角田中学校)	指揮：水戸博之 テノール：糸賀修平	主催：文化庁
10.15 (火) 10.16 (水) 10.17 (木) 10.18 (金)	文化芸術による子供育成総合事業 (秋田県・横手市民会館) (秋田県・湯沢市立川連小学校) (秋田県・湯沢市湯沢東小学校) (秋田県・鹿角市文化の杜交流館)	指揮：松元宏康 テノール：糸賀修平	主催：文化庁
10.31 (木) [2公演]	ニッセイオペラ 2019「ヘンゼルとグレーテル」 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：角田鋼亮	主催：ニッセイ文化振興財団
11.04 (月)	日立システムズ「エンジョイクラシック」公開 収録 (日立システムズホール仙台)	指揮：角田鋼亮 共演：宮城県宮城第一高等学校 管弦楽部	主催：東北放送 河北新報社
11.06 (水)	酒田共同火力名曲プロムナードコンサート (酒田市民会館)	指揮：角田鋼亮 ピアノ：上原彩子	主催：酒田共同火力
11.12 (火) 11.13 (水) 11.14 (木) [6公演]	青少年のためのオーケストラ鑑賞会 (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市 仙台市教育委員会 仙台市市民文化事業団

11. 25(月) 11. 26(火) 11. 28(木)	文化芸術による子供育成総合事業 (宮城県・仙台市立広陵中学校) (宮城県・岩沼市立岩沼南小学校) (宮城県・仙台市立鶴ヶ谷特別支援学校)	指揮：水戸博之 テノール：糸賀修平	主催：文化庁
12. 01(日)	東北文化学園第九演奏会 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：垣内悠希	主催：東北文化学園
12. 04(水)	七十七ふれあいコンサート (かくだ田園ホール)	指揮：平川範幸	主催：七十七銀行
12. 8(日)	南相馬第九演奏会 (南相馬市民文化会館)	指揮：山下一史	主催：南相馬第九特別演奏会実行委員会
12. 12(木)	七十七スターライトシンフォニー (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：松元宏康 ヴォーカル：広瀬香美	主催：七十七銀行 東北放送
12. 15(日)	岩沼第九演奏会 (岩沼市民会館)	指揮：末廣誠	主催：岩沼市民会館
12. 18(水)	仙台フィルのクリスマスコンサート (日立システムズホール仙台)	指揮：松井慶太	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
12. 31(火)	東北放送ジルベスター・ガラ・コンサート (川内萩ホール)	指揮：水戸博之 ソプラノ：砂川涼子	主催：東北放送
令和2年 1. 09(木)	藤崎ニューイヤーコンサート2020 (電力ホール)	指揮：川瀬賢太郎	主催：藤崎
1. 19(日)	けせん第九演奏会 (大船渡市民文化会館)	指揮：岩村力	主催：けせん「第九をうたう会」
1. 29(水)	オーケストラ・スタンダード Vol. 24 (日立システムズホール仙台)	指揮：渡邊一正 ヴァイオリン：神谷未穂	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
2. 01(土)	新進演奏家育成プロジェクト／オーケストラ (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛 ヴァイオリン：村尾隆人 ホルン：布施祐奈 ヴィオラ：長谷山博史 ソプラノ：鈴木真衣	主催：文化庁 日本演奏連盟
2. 05(水)	オーケストラ・スタンダード Vol. 25 (日立システムズホール仙台)	指揮：角田鋼亮 ピアノ：菊池洋子	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
2. 08(土) 2. 09(日) 2. 16(日) 2. 24(月)	宮城県地方音楽会 (七ヶ浜国際村ホール) (気仙沼市民会館) (大和町ふれあい文化創造センター) (蔵王町ふるさと文化会館ございんホール)	指揮：茂木大輔	主催：宮城県 七ヶ浜町 気仙沼市 大和町 蔵王町
2. 23(日)	東北大学混声合唱団60周年記念演奏会 (川内萩ホール)	指揮：佐々木正利	主催：東北大学混声合唱団 東北大学混声合唱団同窓会

2.29 (土)	みんなでつくる復興コンサート (多賀城市文化センター) <u>公演中止</u>	指揮：松井慶太 ヴォーカル：藤澤ノリマサ	主催：TBS 東北放送 河北新報社
3.01 (日)	オリンピック・コンサート (仙台銀行ホールイズミティ21) <u>公演中止</u>	指揮：齋藤一郎 合唱：宮城県内合同合唱団	主催：日本オリンピック委員会
3.14 (土)	JAF音楽日和 (仙台銀行ホールイズミティ21) <u>公演中止</u>	指揮：岩村力 ソプラノ：森麻季	主催：日本自動車連盟